



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社バローホールディングス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9956 URL <https://valorholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 田代 正美  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 篠花 明 (TEL) 0574-60-0858  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	374,661	2.4	9,567	△23.2	11,106	△20.9	5,736	△6.0
2022年3月期第2四半期	365,934	—	12,458	—	14,044	—	6,104	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 5,628百万円(△21.7%) 2022年3月期第2四半期 7,185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	106.81	106.79
2022年3月期第2四半期	113.69	113.64

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2021年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	412,702	166,200	36.7
2022年3月期	410,365	162,521	36.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 151,494百万円 2022年3月期 148,587百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	26.00	—	30.00	56.00
2023年3月期	—	27.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	31.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	750,000	2.4	22,700	7.0	25,000	3.6	11,500	27.6	214.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P.12「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	53,987,499株	2022年3月期	53,987,499株
2023年3月期2Q	281,199株	2022年3月期	285,341株
2023年3月期2Q	53,703,355株	2022年3月期2Q	53,698,661株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P. 5「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化や円安の進行による原材料価格の高騰等、当初の想定を上回る厳しい外部環境となりました。また、当社グループの主要な事業領域である流通業界におきましても、歴史的な物価上昇によって消費者の生活防衛意識が高まる中、食料品や日用品等の調達価格、資源高による光熱費等のエネルギーコストの上昇が続いており、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況の下、当社グループは、「コネク2030～商品・顧客・社会を繋ぐ」を戦略目標とする中期3ヵ年経営計画の2期目を迎え、製造機能を活かした商品力の向上や来店目的を明確にした「デスティネーション・ストア」への転換を進めました。スーパーマーケット事業では生鮮の強化及び既存店改装を継続し、ドラッグストア事業ではヘルスケア、化粧品及び調剤部門を強化しました。また、ホームセンター事業では、プライベート・ブランド商品の販売を更に拡大するとともに、EC事業及びデジタルマーケティングを推進しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減
営業収益	365,934百万円	374,661百万円	8,727百万円
営業利益	12,458百万円	9,567百万円	△2,890百万円
経常利益	14,044百万円	11,106百万円	△2,937百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,104百万円	5,736百万円	△368百万円

なお、当第2四半期末現在のグループ店舗数は1,311店舗となっております。

## 連結業績の分析

## ①営業収益

営業収益は3,746億61百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。スーパーマーケット事業では、生鮮・惣菜部門の強化を支える食品加工業及び卸売業が貢献するとともに、前期に子会社化した企業が寄与しました。また、ドラッグストア事業では、店舗の新設及び既存店舗への調剤薬局併設が寄与しました。

## ②営業利益

営業総利益は1,083億93百万円（前年同四半期比2.6%増）となり、販売費及び一般管理費は水道光熱費及び店舗の新設に伴う賃借料等の増加により、988億25百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

これらの結果、営業利益は95億67百万円（前年同四半期比23.2%減）となりました。営業収益営業利益率は2.6%となり、前年同四半期に比べて0.8ポイント低下しました。

## ③経常利益

営業外収益は22億76百万円（前年同四半期比6.5%減）となり、営業外費用は7億37百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

これらの結果、経常利益は111億6百万円（前年同四半期比20.9%減）となりました。営業収益経常利益率は3.0%となり、前年同四半期に比べて0.8ポイント低下しました。

## ④親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益4億31百万円（前年同四半期比24.2%減）及び特別損失5億40百万円（前年同四半期比45.9%減）の計上により、税金等調整前四半期純利益は109億97百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。また、法人税等の合計は39億95百万円（前年同四半期比32.6%減）、非支配株主に帰属する四半期純利益は12億66百万円（前年同四半期比20.1%減）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億36百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### セグメント別の経営成績

##### 営業収益

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減
スーパーマーケット事業	201,868百万円	206,401百万円	4,533百万円
ドラッグストア事業	76,390百万円	80,071百万円	3,680百万円
ホームセンター事業	62,507百万円	63,322百万円	814百万円
スポーツクラブ事業	4,829百万円	4,845百万円	16百万円
流通関連事業	4,952百万円	4,916百万円	△36百万円
その他の事業	15,386百万円	15,104百万円	△281百万円
合計	365,934百万円	374,661百万円	8,727百万円

##### 営業利益又は営業損失

	前第2四半期 連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	増減
スーパーマーケット事業	8,060百万円	5,251百万円	△2,808百万円
ドラッグストア事業	1,667百万円	2,117百万円	450百万円
ホームセンター事業	3,479百万円	3,032百万円	△446百万円
スポーツクラブ事業	△275百万円	△448百万円	△173百万円
流通関連事業	1,618百万円	1,634百万円	16百万円
その他の事業	1,282百万円	962百万円	△319百万円
セグメント間取引消去	△5,105百万円	△4,472百万円	633百万円
全社費用等(注)	1,731百万円	1,489百万円	△241百万円
合計	12,458百万円	9,567百万円	△2,890百万円

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

#### <スーパーマーケット(SM)事業>

SM事業の営業収益は2,064億1百万円(前年同四半期比2.2%増)、営業利益は52億51百万円(前年同四半期比34.8%減)となりました。

同事業におきましては、4店舗を新設、3店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計313店舗となりました。中核の株式会社バローでは、「SMバロー瑞浪店」(岐阜県瑞浪市)をスクラップ&ビルドし、製造機能を活かした商品力の向上や来店目的を明確にした「DESTINATION・ストア」へ転換しました。

同事業では、生鮮・惣菜部門の強化を支える食品加工業及び卸売業が貢献するとともに、前期に子会社化した企業が寄与し、増収となりました。しかしながら、生活防衛意識の高まりや巣ごもり需要の反動減などにより既存店売上高(収益認識会計基準等の影響を除く)は前年同四半期比で2.1%減となり、売上総利益が減少したほか、水道光熱費等が増加し、減益となりました。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は800億71百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益は21億17百万円（前年同四半期比27.0%増）となりました。

同事業におきましては17店舗を新設、3店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計492店舗（うち調剤取扱153店舗）となりました。

同事業では、調剤併設化を中心とした売場改装による効果に加え、7月以降のオミクロン株流行による医薬品部門の感染対策需要もあり、既存店売上高（収益認識会計基準等適用の影響を除く）は前年同四半期比で0.8%増加しました。また、調剤部門及び化粧品部門の売上伸長、原価改善等による売上総利益率の上昇、販売促進手法の一層のデジタル化による販売費の低減により、増収増益となりました。

#### <ホームセンター（HC）事業>

HC事業の営業収益は633億22百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は30億32百万円（前年同四半期比12.8%減）となりました。当第2四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2022年3月1日から8月31日までを対象としております。

同事業におきましては、非接触志向のオンラインを活用した購買、キャッシュレス決済の進行などデジタルシフトが加速する中、EC事業が大きく前年を上回る実績で推移し、増収を確保しましたが、巣ごもり需要の反動減から、株式会社ダイユーエイト、株式会社ホームセンターパロー及び株式会社タイムの既存店売上高（収益認識会計基準等適用の影響を除く）は前年同四半期比で1.1%減少しました。

同事業では、プライベート・ブランド商品の開発スピードを高めて販売を更に拡大した結果、売上総利益率は改善しましたが、水道光熱費等の増加により、減益となりました。

なお、店舗につきましては、1店舗を新設、1店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計158店舗となっております。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は48億45百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業損失は4億48百万円（前年同四半期2億75百万円）となりました。

同事業におきましては、7月より実施した「スポーツクラブアクトスWill\_G（ウィルジー）」の月会費の値上げ、コロナ禍で増加した休会者の減少等により増収となりましたが、水道光熱費等の売上原価が増加したため、営業損失が拡大しました。

店舗につきましては、1店舗を新設、5店舗を閉鎖し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計189店舗（うちフランチャイズ運営56店舗）となっております。

#### <流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は49億16百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は16億34百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。

物流、資材卸売、設備メンテナンスなど、流通に携わるグループ企業では、設備メンテナンス事業を中心に減収となりましたが、急激な円安の進行やエネルギーコストの上昇の中、経費をコントロールしたことによって、増益となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の営業収益は151億4百万円（前年同四半期比1.8%減）、営業利益は9億62百万円（前年同四半期比24.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2022年3月1日から8月31日までを対象としております。

同事業には、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業などが含まれております。ペットショップ事業では、生体の販売頭数に鈍化が見られたものの、犬・猫のおやつ及びプレミアムフード、小動物のフード等が好調に推移したほか、外出・旅行等の需要拡大により、コロナ禍に著しく落ち込んでいたペットホテルサービスは回復しております。

なお、ペットショップ事業におきましては、1店舗を新設し、当第2四半期末現在の店舗数はグループ合計116店舗となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産、負債及び純資産の残高、前期末との増減額及び増減要因は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)	増減
総資産	410,365百万円	412,702百万円	2,336百万円
負債	247,844百万円	246,502百万円	△1,342百万円
純資産	162,521百万円	166,200百万円	3,679百万円

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23億36百万円増加し、4,127億2百万円となりました。これは主に、現金及び預金が34億64百万円減少したものの、商品及び製品30億33百万円、流動資産その他に含まれる前払費用13億56百万円及び有形固定資産15億2百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億42百万円減少し、2,465億2百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金28億48百万円、未払法人税等6億3百万円がそれぞれ増加したものの、有利子負債が47億92百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ36億79百万円増加し、1,662億円となりました。なお、非支配株主持分及び新株予約権を除く純資産は1,514億94百万円となり、自己資本比率は36.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,260	19,795
受取手形、売掛金及び契約資産	14,905	15,717
有価証券	-	87
商品及び製品	56,261	59,295
原材料及び貯蔵品	1,128	1,226
その他	14,670	16,281
貸倒引当金	△9	△1
流動資産合計	110,217	112,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	144,152	146,601
土地	54,282	54,493
その他（純額）	26,877	25,720
有形固定資産合計	225,312	226,815
無形固定資産		
のれん	2,323	2,069
その他	15,435	15,356
無形固定資産合計	17,759	17,426
投資その他の資産		
差入保証金	32,578	32,278
その他	24,859	24,111
貸倒引当金	△360	△330
投資その他の資産合計	57,077	56,059
固定資産合計	300,148	300,300
資産合計	410,365	412,702



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,237	60,086
短期借入金	37,636	34,736
コマーシャル・ペーパー	17,000	18,000
未払法人税等	3,480	4,084
賞与引当金	3,540	3,664
引当金	742	720
資産除去債務	65	157
その他	28,341	27,573
流動負債合計	148,045	149,021
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,511	45,003
引当金	496	504
退職給付に係る負債	6,297	6,471
資産除去債務	16,143	16,449
その他	19,350	19,051
固定負債合計	99,799	97,480
負債合計	247,844	246,502
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,609	13,609
資本剰余金	20,063	20,067
利益剰余金	115,030	119,152
自己株式	△547	△538
株主資本合計	148,156	152,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	559	△357
繰延ヘッジ損益	5	1
為替換算調整勘定	132	△194
退職給付に係る調整累計額	△266	△246
その他の包括利益累計額合計	431	△796
新株予約権	121	19
非支配株主持分	13,811	14,685
純資産合計	162,521	166,200
負債純資産合計	410,365	412,702

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	353,780	362,317
売上原価	260,275	266,268
売上総利益	93,504	96,049
営業収入	12,153	12,343
営業総利益	105,658	108,393
販売費及び一般管理費	93,200	98,825
営業利益	12,458	9,567
営業外収益		
受取利息	66	62
受取配当金	90	96
受取事務手数料	807	798
受取賃貸料	320	335
持分法による投資利益	51	35
その他	1,098	947
営業外収益合計	2,434	2,276
営業外費用		
支払利息	402	378
不動産賃貸原価	241	248
その他	204	110
営業外費用合計	848	737
経常利益	14,044	11,106
特別利益		
固定資産売却益	67	12
負ののれん発生益	0	1
違約金収入	31	66
補助金収入	379	14
為替換算調整勘定取崩益	-	163
新株予約権戻入益	-	101
その他	90	72
特別利益合計	569	431
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	69	52
減損損失	462	326
固定資産圧縮損	354	5
その他	112	156
特別損失合計	1,000	540
税金等調整前四半期純利益	13,613	10,997
法人税、住民税及び事業税	4,425	4,225
法人税等調整額	1,498	△229
法人税等合計	5,923	3,995
四半期純利益	7,689	7,002
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,584	1,266
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,104	5,736

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	7,689	7,002
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△433	△922
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	△90	△468
退職給付に係る調整額	19	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△503	△1,373
四半期包括利益	7,185	5,628
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,646	4,507
非支配株主に係る四半期包括利益	1,539	1,120

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,613	10,997
減価償却費	9,535	10,101
減損損失	462	326
のれん償却額	264	377
負ののれん発生益	△0	△1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△37
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	172	198
受取利息及び受取配当金	△157	△160
支払利息	402	378
持分法による投資損益 (△は益)	△51	△35
為替換算調整勘定取崩益	-	△163
新株予約権戻入益	-	△101
固定資産除却損	69	52
売上債権の増減額 (△は増加)	△524	△785
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,998	△3,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△601	2,819
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△2,566	△427
その他	△1,759	△1,674
小計	15,873	18,756
利息及び配当金の受取額	109	115
利息の支払額	△396	△371
法人税等の支払額	△7,759	△3,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,827	15,421
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,972	△10,595
有形固定資産の売却による収入	158	157
無形固定資産の取得による支出	△1,295	△802
差入保証金の差入による支出	△1,459	△604
差入保証金の回収による収入	835	821
預り保証金の受入による収入	268	105
預り保証金の返還による支出	△177	△184
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△401	△27
事業譲受による支出	-	△128
その他	306	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,736	△11,247

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,071	500
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	5,000	1,000
長期借入れによる収入	5,632	3,000
長期借入金の返済による支出	△8,781	△8,942
社債の発行による収入	9,950	-
社債の償還による支出	△10,005	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,407	△1,401
配当金の支払額	△1,560	△1,613
非支配株主への配当金の支払額	△319	△295
その他	13	8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,548	△7,743
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,455	△3,558
現金及び現金同等物の期首残高	29,349	22,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,894	19,309

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1)連結財務諸表 注記事項 (重要な会計上の見積り) 2. スポーツクラブ事業の店舗に係る固定資産の減損」に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット(SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	201,868	76,390	62,507	4,829	4,952	350,547	15,386	365,934
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,640	107	838	101	16,247	19,935	1,849	21,785
計	204,508	76,498	63,345	4,930	21,200	370,483	17,236	387,719
セグメント利益又は損失(△)	8,060	1,667	3,479	△275	1,618	14,550	1,282	15,832

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業などがあります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,550
「その他」の区分の利益	1,282
セグメント間取引消去	△5,105
全社費用等(注)	1,731
四半期連結損益計算書の営業利益	12,458

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント338百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント49百万円及び「その他」73百万円の減損損失を計上しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット (SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	206,401	80,071	63,322	4,845	4,916	359,556	15,104	374,661
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,709	110	848	257	17,456	21,383	1,938	23,322
計	209,111	80,181	64,170	5,103	22,372	380,940	17,043	397,983
セグメント利益又は損失(△)	5,251	2,117	3,032	△448	1,634	11,587	962	12,550

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業などがあります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	11,587
「その他」の区分の利益	962
セグメント間取引消去	△4,472
全社費用等(注)	1,489
四半期連結損益計算書の営業利益	9,567

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント13百万円、「ドラッグストア事業」セグメント10百万円、「ホームセンター(HC)事業」セグメント41百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント260百万円及び「その他」0百万円の減損損失を計上しております。